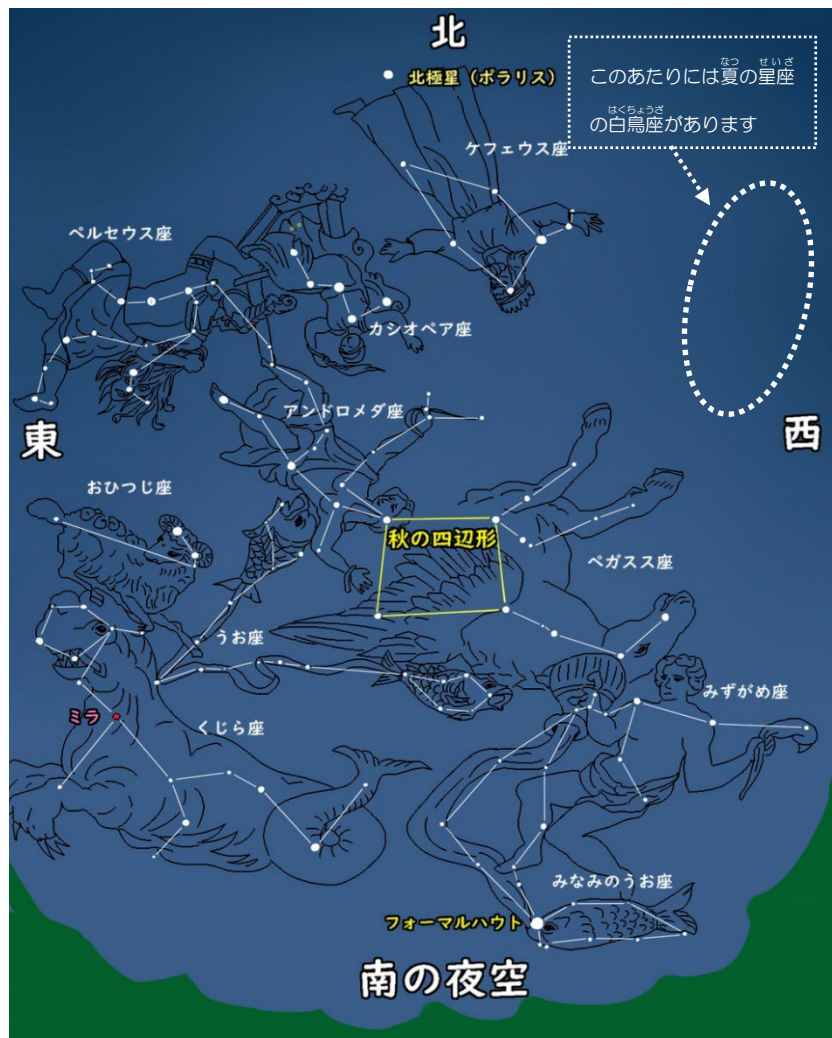


あき よなが ほしぞら なが 秋の夜長に星空を眺めてみよう

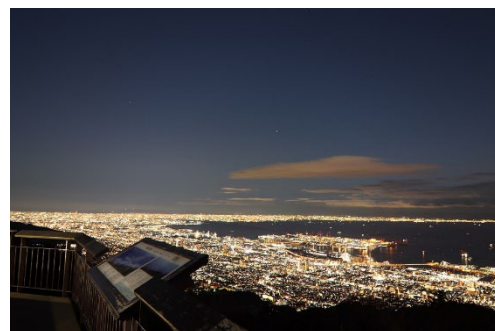
暑い夏がやっと落ち着いて、日が沈む時間が少しずつ早くなってきました。本格的な秋の始まりです。空気中の湿度が下がることで、空が透き通って見える秋は、実は星空観察に向いている季節です。夜は寒いので上着を羽織るなど防寒対策をして、星空を眺めてみませんか？



11月中旬 20時ごろの星空

ほしぞらかんさつ さいてき ばしよ 星空観察に最適な場所は？

1000万ドルの夜景といわれるような、光が集まっている景色はとても綺麗なのですが、街明かりの明るい人工の光によって、自然の星々の光は見えなくなってしまいます。星空観察をする際は、大人の人と一緒に街の光の影響を受けにくいような場所（例えば、街から離れた山間部のキャンプ場等）に行くと、もっと星空を楽しめます。



街の明かりが輝いて見えるようなところでは、星の光は見えにくくなります



てんたい

天体イベント(月食)を紹介

しょうかい



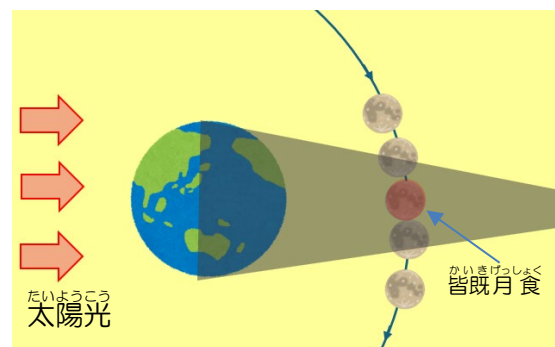
りゅうせいぐん すいせい とうか よそら てんたい
流星群や彗星の通過など、夜空にはさまざまな天体イベントが
あり、それらは星座の観察とはまた違った楽しみ方ができます。
2025年9月8日には、天体イベントの一つ「皆既月食」が
3年ぶりに日本で見られました。夜遅くの時間であったため見逃
した方もいると思います。皆既月食は2026年3月3日にも
観察できますので、ぜひチャレンジしてみてください。



皆既月食時に月が欠けていく様子

【月食が起こる仕組み】

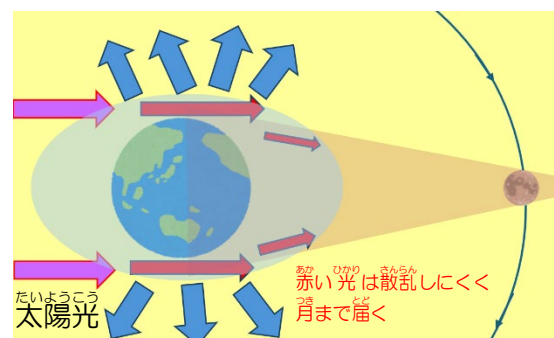
ふだんわたし み つき みすか ひか
普段私たちが見ている月は自ら光っているのではな
く、太陽の光を反射することで輝いています。また、
太陽に照らされると反対側に影ができるように、地球も
太陽に照らされて影ができています。その影の部分に月
が入ると、地球の影によって月を照らしている太陽の光
がさえぎられて、月が欠けていくように見える「月食」
がおこるのです。



地球の影に月が入ることで、月が欠けていくように見える

【月食の時、月が赤く見えるのはなぜ？】

かいぎげっしよく とき つき あか み
皆既月食の時は、月が赤く見える神秘的な現象が起
こります。これは、地球をとりまく大気の層を太陽光
が通るときにおこるもので、朝日や夕日が赤く見える
のと同じ理由です。光には赤や青などのさまざまな色
が含まれており、すべてが合わさって、普段は白っぽ
く見えています。光が地球の大気の中を通ると、青い
光は散乱してしまうのですが、赤い光は散乱しにく
く、月まで届くため、月が赤く見えるのです。



青い光は大気中で散乱しやすい

アクティブ・レンジャーを出前授業に呼んでみませんか？

この記事を書いた兵庫県南部・瀬戸内海側にある神戸自然保護官事務所の中村(なかむら)です。
自然の中で遊べる出前授業も行っています。

↓↓興味のある方は、お気軽に下記までご相談ください↓↓

環境省 神戸自然保護官事務所 TEL:078-331-1146 FAX:078-331-1148
竹野自然保護官事務所 TEL:0796-47-0236 FAX:0796-47-0249

